科目名	建築製図２						年度	2026
英語科目名	Architectural Drafting 2						学期	前期
学科・学年	建築設計科 2年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	天野　奈緒	教員の実務経験	有	実務経験の職種	建築設計			

【科目の目的】
・建築計画、法規、構造、設備の重要性を理解し、機能的かつ総括的な建築物を計画することができる
・建築設計実務で必要な図面（展開図・矩計図など）を作図できる

【科目の概要】
公共建築物の参考図面を基に、ゾーニング・機能図・動線計画の重要性を学ぶ。また、建築設計で必要なその他の図面を読み取り力・描き上げる力を習得しながら、各図面の整合性の重要性を学ぶ。

【到達目標】
A. 機能の特性を理解し、ゾーニングすることができる
B. 実務で必要な図面を描くことができる
C. 各図面の整合性を確認し、正確な図面をまとめ上げることができる

【授業の注意点】
評価はルーブリックにもとづいて行い、提出図面の理解度・内容において評価を行う。
学生による積極的な教え合いを実行する。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている		レベル３ ふつう		レベル１ 要努力
到達目標 A	機能図、動線計画、ゾーニングの重要性を理解し、図面表現ができる		機能図、動線計画、ゾーニングの重要性を理解している		機能図、動線計画、ゾーニングの重要性が理解できない
到達目標 B	実務で必要な図面を描くことの重要性を理解し、図面表現ができる		実務で必要な図面を描くことの重要性を理解している		実務で必要な図面を描くことの重要性が理解できない
到達目標 C	各図面の整合性の重要性を理解し、図面表現ができる		各図面の整合性の重要性を理解している		各図面の整合性の重要性が理解できない
到達目標 D					
到達目標 E					

【教科書】
建築デザイン製図/学芸出版社　　コンパクト建築設計資料集成/日本建築学会

【参考資料】
その他配布資料

【成績の評価方法・評価基準】
成果品等で評価する
出欠席および授業の通り組み姿勢で評価する

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	建築製図２	年度	2026
英語表記	Architectural Drafting 2	学期	前期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	建築計画	来館者と管理者のすみわけ	1	ゾーニング	部門ごとのグループ分けの意味を理解している	1	
			2	機能・動線	利用者ごとの動きの違いを理解している		
2	建築計画	来館者と管理者のすみわけ	1	外部空間	利用者ごとにアプローチ分けをする意味を理解している	1	
			2	歩車分離	人と車の空間を分ける意味を理解している		
3	建築計画	プランニングの練習	1	機能・動線	機能と動線を重視し建築物を計画できる	1	
			2	室の広さ	適切な室の広さで計画できる		
					公開部門と非公開部門を明確にできる		
4	建築計画	プランニングの練習	1	経済スパン	経済スパンで計画できる	1	
			2	階段寸法	階高と階段広さ、梁との関係を理解している		
			3	階高	利用空間と適切な広さを理解している		
5	建築構造	ＲＣ造 ラーメン工法	1	経済スパン	経済スパンで計画することの意味を理解している	1	
			2	メンバー	柱・梁・地中梁などの断面寸法を理解している		
6	建築構造	ＲＣ造 ラーメン工法	1	無柱空間	無柱空間におけるPC梁を理解している	1	
			2	基礎・杭	地耐力と基礎の種類の違いを理解している		
			3	躯体	断面・矩計図の図面表現ができる		
7	建築法規	不特定多数が利用する建物の法規	1	斜線制限	道路・隣地・北側斜線制限の意味を理解している	1	
			2	避難階	避難階とは何かを理解している		
			3	避難経路	屋内外の避難経路の取り方を理解している		
8	建築法規	不特定多数が利用する建物の法規	1	防火区画	火災と防火区画の重要性を理解している	1	
			2	２方向避難	２方向避難と直通階段の意味を理解している		
			3	バリアフリー	身障者も使用する公共建築物への配慮ができる		
9	建築設備	空調・給排水 ・電気設備	1	空調・給排水・電気	各設備の選択方法を理解している	1	
			2		建物規模と設備空間の関係性を理解している		
			3	PS/DS/EPS	PS・DSなど設置基準と広さを理解している		
10	プレゼンシート	プレゼンシートの表現方法	1	分割法	グリッドに分割してレイアウトする手法を理解している	1	
			2	余白	まとまりと余白の重要性を理解している		
			3	レイアウト	視線の動きに合わせて配置することを理解せている		
11	プレゼンシート	プレゼンシートの表現方法	1	文字	フォントと文字のサイズを理解している	1	
			2	着彩	適切な色調を選択できる		
			3	見やすさ	全体の安定感の重要性を理解しているか		
12	図面表現	大梁・小梁 ・PC梁・地中梁	1	大梁	大梁のメンバーを理解し、図面に表現できる	1	
			2	小梁	スラブの負担幅と小梁の関係を理解している		
			3	その他の梁	構造を理解し、適切に図面表現ができる		
13	図面表現	躯体・仕上	1	スラブ・壁	スラブ厚や段差、二重壁などの表現ができる	1	
			2	階高	設備配管と天井懐の関係性が理解できる		
14	図面表現	展開図	1	展開図	展開図の重要性を理解している	1	
			2	図面表現	展開図の描く方向・順番を理解している		
			3		展開図の表現の仕方を理解している		
15	図面表現	天井伏図	1	天井伏面	天井伏図の意味を理解している	1	
			2	図面表現	梁と設備配置の関係性を理解している		
			3		天井伏図の表現の仕方を理解している		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等